

エネルギー消費量算定値の見直しについて

平成30年3月に策定した苫小牧市第3次環境基本計画（以下「計画」という）では、市内のエネルギー消費量における削減目標を掲げており、毎年、その進捗状況を公表することとしています。

市内エネルギー消費量の算定には、経済産業省資源エネルギー庁が毎年公表している「都道府県別エネルギー消費統計」を主に用いていますが、令和2年12月22日付けで推計方法等が変更され、1990年にまで遡り公表値が改訂されました。

これに伴い、新たな都道府県別エネルギー消費統計を用いて算定した市内エネルギー消費量と、これまでに算定した消費量との比較が困難になったことから、2013年（計画の基準年度）まで遡り、エネルギー消費量算定値の見直しを行います。

※端数処理の関係から、実際の計算と一致しない部分があります。

1 エネルギー消費量の新旧比較

全体のエネルギー消費量は、旧算定値と比較し、各年度減少することとなりました。

産業部門、業務部門、家庭部門が各年度減少しており、運輸部門も2013年度のみわずかに減少していますが、その他の年度は新旧で同値となっています。廃棄物部門は、算定に「都道府県別エネルギー消費統計」の値を使用しないため、新旧で同値となっています。

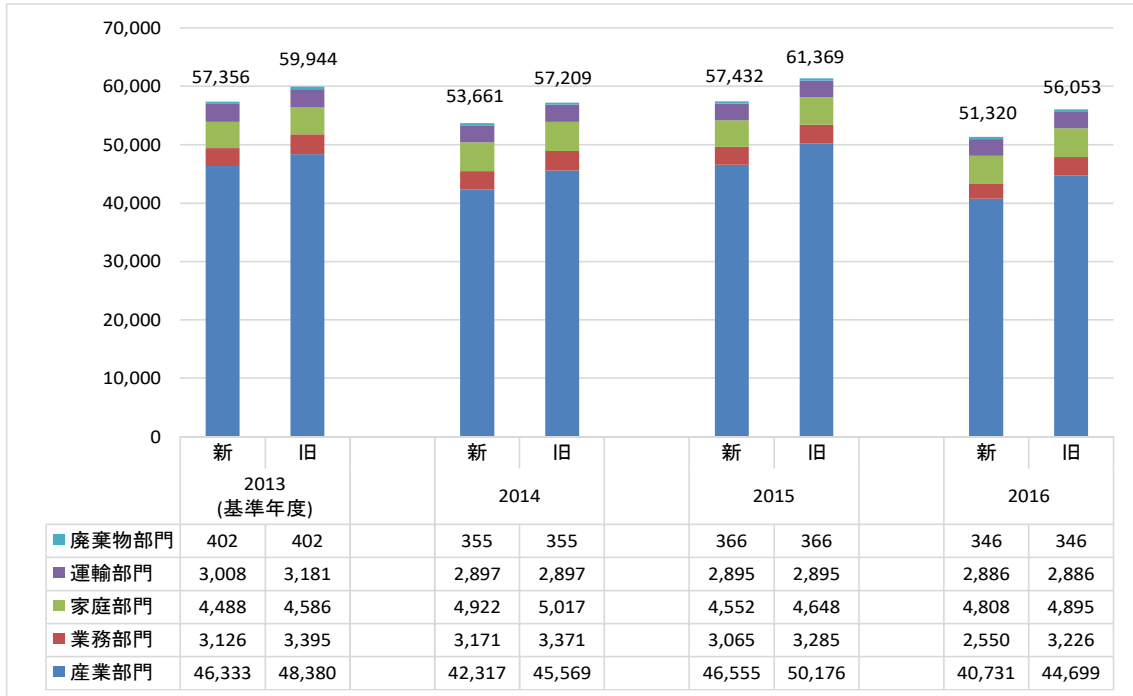


図1 エネルギー消費量の新旧比較（単位：TJ）

2 二酸化炭素排出量の比較（参考値）

二酸化炭素排出量は、エネルギー消費量と同様、産業部門、業務部門、家庭部門で減少する結果となり、運輸部門、廃棄物部門はほぼ同値となっています。

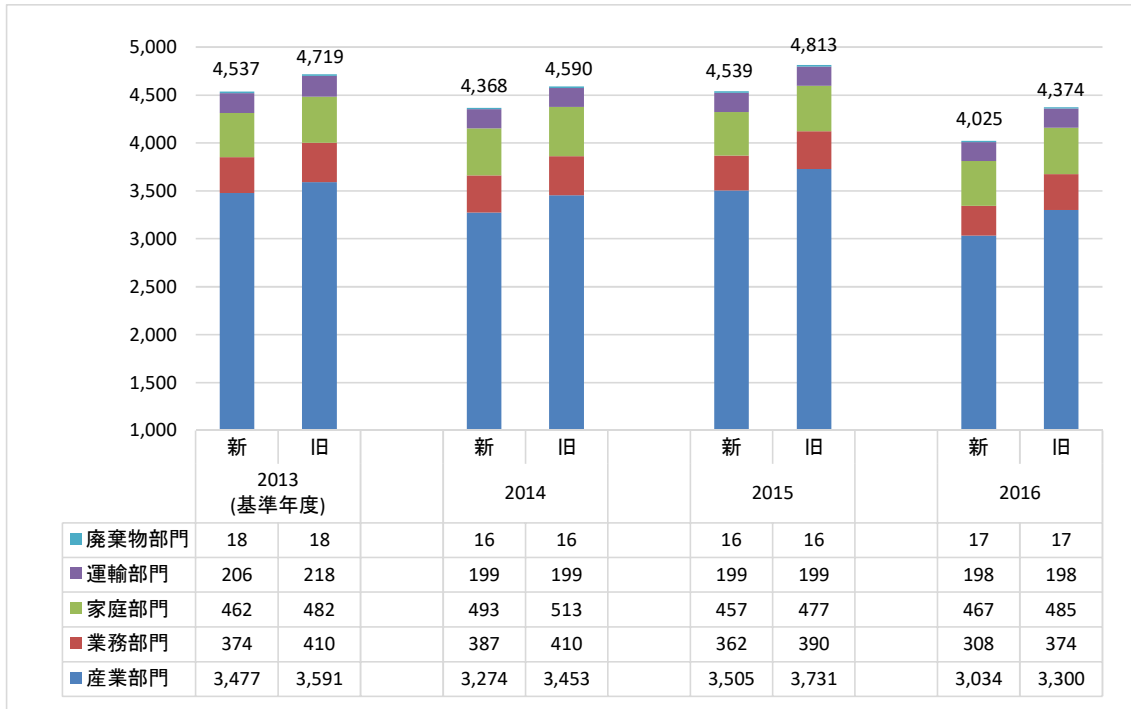


図2 二酸化炭素排出量の新旧比較（参考値）（単位：千t-CO₂）